

2014年
クイーン倶楽部だより 7月号
第139号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447
URL <http://www.eco-rice.jp/>
E-mail eco-net@nekonet.ne.jp



枝豆の季節到来! ご予約受付中!
笠原茂樹さんの枝豆



枝豆のご予約を開始しています!
枝豆の生育途中に“ヒョウ”が降り、一部品種にはダメージがありましたが、人気の茶豆系は例年通りお届けできる予定です。
太陽と大地、笠原さんの愛情をたっぷり受けて育った枝豆をどうぞご賞味ください!



ひと手間加えて! ほんのり塩味!
枝豆ごはん

塩と日本酒を加えて普通に炊いたごはんに、茹でてさやから出した枝豆をたっぷり加えるだけ!
茹でた枝豆が余った時のおすすめレシピです。

詳しくは「ふるさと特産品・夏」のパンフレットをご覧ください

ドクター
中村の
健康徒然記
その41

陰謀の医学



中村 信也(なかもろのぶや)
医学博士、東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療の医療薬膳研究の第一人者」として活躍中。

この世には陰謀が蠢(うご)まっていますが、医学でも例外ではありません。最近血圧薬の研究の陰謀がマスコミに暴露されました。ノバルティス社の「ディオバン」で、その優秀性はお金で作られたものと暴露されました。高額の研究費を受け取った各大学の教授達は直ちに辞任しました。

陰謀の主な内容は薬に関する情報を医師や薬剤師に提供する「MR」(medical representative)の人々です。辞典では「medical」は「医学」、「representative」は「代表者」、「外交販売員」とあります。つまり製薬会社の販売員となります。実態は自社の製品を売り込みます。給与体系も売り上げに連動しています。MRの方々は生活をかけて熱心に医学界に入り込みます。

この方々が、「降圧剤を飲まないで危険」「自社製品はいかに優れているか」の二本立てで医師・薬剤師に説明します。売り上げを伸ばし、かなりの宣伝武器となる研究論文を資金と労力を提供して、自社製品がNO.1という論文を作ってもらいます。

これが「ディオバン」という降圧剤の陰謀ですが、第二の事件として、武田製薬の「プロプレス」の陰謀が暴露されました。37億円の信じられない金額が研究費として寄付され、優秀な薬であると論文が作られました。

何故「降圧剤?」となりますが、薬で断片の売り上げだからです。巨額の売り上げには巨額の宣伝費が資本主義の原則です。これだけ売ればいくらかかります。

さらに「MRは、」も「患者」を謀ります。患者増加策として高血圧基準を下げられ、「血圧は低ければ低いほど善い」がドクターに常識化します。メタボリックシンドロームの高血圧の基準値が、上が140、下が85mmHgですが、厚生労働省のメタボ該当者基準として130mmHg以上という信じられない基準に下げられました。

陰謀防止策は先生方が自分の患者を客観的に評価してどの程度まで血圧を下げるべきか研究するしかありません。